

無所属

横浜市会議員（磯子区）

ふた

い



二井くみよ

市政報告 Vol.13



【横浜市会】令和4年第4回定例会が始まりました

- ①来年1月からレシ活 VALUE 再開！
- ②私の横浜市の中学校給食への考え方



令和5年1月1日～レシ活 VALUE の再開決定！



先月末の議会において、レシ活VALUEに関する補正予算案が議決・成立しました。レシ活VALUEは、横浜市内で買い物をした際に発行されたレシートをアプリで登録するか郵送で申請することで利用額の最大20%がキャッシュバックされる横浜市の事業です。今回は[アプリ版のみの再開](#)となりますが、その事業概要と予算の内訳をご紹介します。

実施期間	令和5年1月1日（日）から予算額上限に達するまで（約1.5ヶ月を想定）
ポイント還元について	スマートフォンアプリ「ONE」を使った印字レシートの送信のみ
還元率・還元方法	最大20%（ポイントでの還元）
1回の還元上限	400円（利用金額が2千円超の場合も400円です）
1日の投稿上限	1枚/1日（同一日付のレシートは、投稿日が異なれば受付可能）
期間中の累積上限額	1万2千円/1人あたり
参加対象者	横浜市内居住者
対象となるレシート	実施期間中に発行されたレシート（手書き領収書不可）
還元予算額	30億円 [事業効果 / 約150億円]
対象店舗	市内事業者（飲食店・ガソリンを除く） ※店名・住所または045を含む電話番号と日付が印字されたレシートを発行している市内店舗
その他注意事項	【対象とならない商品やサービス】 ※次のものは還元対象とならないのでご注意ください！ ・金券、商品券、切手等換金性の高いもの ・たばこ、各種税金、水道料金等 ・飲食店での飲食代、ガソリン等 ・これらを含むレシート

ご不明な点などは「二井くみよ事務所」までご連絡下さい。

今回は郵送申請がありませんのでご注意ください！



「1+1」を「3」や「4」に出来る施策の展開を！

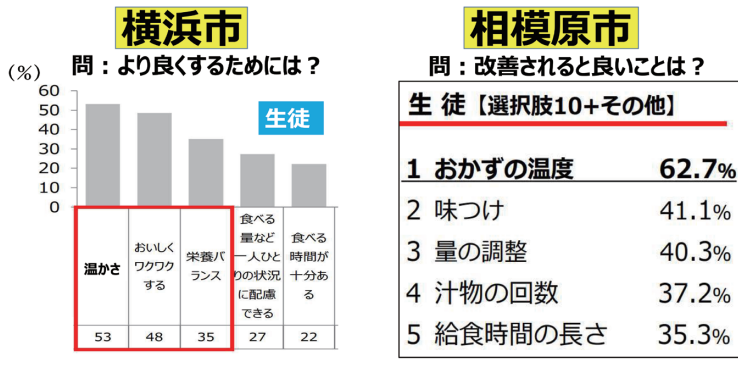
二井の視点

8月から始まったレシ活VALUEアプリ版は、10月には予算の上限額に達し、想定よりかなり早く終了しました。アプリで参加された市民の数は約34万5千人と、一日約3千人のペースで利用者が増え、急速に認知が広がったと考えられます。この事業は、物価高騰に対する市民生活の支援が目的ですが、市内の事業者支援と消費の喚起という相乗効果も期待できます。また、レシ活以外の事業、例えば現在実施中の高齢者施設・障がい者福祉施設への支援や、非課税世帯への臨時特別給付金等の施策とを両輪で展開していくことで、より包括かつ効果的な支援と経済の活性化に繋がっていくものと考えます。これからも市民目線に立った施策展開に取り組んで参ります。

今月、新たな横浜市の中期計画（2022-2025年）の策定に向けた計画案が議会で審議され、その中で横浜市の中学校給食の今後の提供方式が最終決定される予定です。まさに今、重大な局面を迎え、私の所属会派である「民主フォーラム」でも活発な議論を展開していきます。

尚、民主フォーラムは今月の審議に先駆けて、10月の議会において教育委員会に質問を行いました。その内容について、まとめてご報告します。

デリバリー方式の課題(アンケート結果より)



現在、横浜市の市立中学校における給食は、家庭弁当と民間事業者が調理したデリバリー型給食(1食330円)の選択制となっています。しかし、おかずが冷たいなど様々な課題もありデリバリー型給食を選ぶ生徒は3割程度にとどまっています。一方、本市はより多くの生徒に給食を提供するため、令和8年度からこのデリバリー型給食を全員喫食とする方針を打ち出しています。

会派からの質問 1

生徒へのアンケート結果から、選択式デリバリー給食は食育につながりにくいと考えられるが、食育の観点を重視して提供方式を選ぶべきでは？

答弁
教育委員会

生徒へのアンケート結果は真摯に受け止めています。今後、給食の利用が原則となれば、これまで以上に様々な機会を通じて食に関する指導ができるので、学習教材や教職員の研修の充実などを通して食育の推進を図っていきたいと考えます。

会派からの質問 2

給食に対する生徒の満足度を高めることを優先し、時間をかけて検討すべきでは？

答弁
教育委員会

これまでの間、あらゆる手法を選択肢に全庁を挙げて検討を進めてきましたが、現時点では、センター方式(※)の実施に必要な土地を確保できる見通しが立っていません。時間をかけてもこの状況は変わらないと思います。
(※給食工場保温食缶に盛り付け、各学校に配送・配膳する方式)



全ては子どもたちの未来のために！

二井の視点

中学校給食は実施方法を一度決めると15～20年変えることができません。スケジュールありきではなく、時間をかけて生徒や保護者の声に向き合って何を優先するのかを重視して方法を決めるべきです。私は、全ての生徒が満足する給食実現のために求められているものは「温かさ」と「食育」だと考えます。他市の調査結果も参考にこの2点を優先し、全ての子どもたちが楽しくおいしい給食を食べられるよう、今月の議会においても主張してまいります。

実施方式検討で優先されるべきは…
「すべての生徒が満足する給食の提供」



いまの横浜市では…
「令和8年度からの提供開始」が優先されていないか？

二井くみよ プロフィール

- ◆1982年9月6日生まれ
- ◆千葉大学法政経学部卒業
- ◆国会議員秘書(13年間)を経て民間会社勤務
- ◆行政書士・就労移行支援事業所 就労支援員
- ◆横浜市議員1期目(無所属)
- ◆健康福祉・医療委員会/郊外部再生・活性化特別委員会
- ◆民主フォーラム横浜市議員団 所属

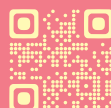


市政に優しさを！即実行！！

<HPはこちら>



LINE
公式アカウント



是非ご登録・ご覧ください！

二井くみよ事務所

〒235-0045
横浜市磯子区洋光台 3-17-29
サウスウィンド 101
電話：045-654-4497
FAX：045-330-7799
MAIL：futaikumiy@gmail.com